

2025年 年頭のご挨拶

新年のご挨拶申し上げます

物価高、格差など生きづらい世の中ですが、
明るい年になります様今年も活動してまいります。



私が常総生協の組合員になったのは2004年牛久に越してきたときです。
組合員になってしばらく生協の利用は多くありませんでした。供給の方に市販と生協の商品の食べ比べで商品のことを教えて頂き、それまでは値段が高くて生協の商品を買っていませんでしたが、以来うちで食べる食材をほぼ常総生協で買うようになりました。食べ物は毎日食べて体を作るものなので、限られた生活費の中でなんとかやりくりしています。
また億劫で催しにあまり参加していませんでしたが、なぜかあるときこのままではいけない、生産の現場を見に行こうと思い、生産者交流会に参加しました。生産者の方は理念を持っていてとても素敵で、その空間が楽しくて人も場所も大好きになりました。

素敵な生産者の方が沢山いるのでそのことを発信していくのと、組合員の方々に知って頂く機会を作る年にできればと思っています。



また今年6月は社団法人ネットワーク21に加盟するかしないか決めなければなりません。
常総生協の理念の「食は命」を歪めることなく、組合員、生産者、職員の皆様が納得できる形を話し合いで見つけて行きたいと思っています。皆様のご協力をどうかよろしくお願いいたします。
本年もよろしくお願いいたします。

常総生活協同組合 理事長 中丸晴子

昨年12月、職員で作った
味噌開きをしました！

【次頁】味噌づくりシーズン到来！今年度の「大豆プロジェクト」につきましてご報告致します。



2025年1月の予定

○生協基幹運営/地域活動・催し●

○「常総子応援団」流星台プレイパーク: 毎週木曜日10～14時活動中です！(出入り自由)

○提携・協同・連帯企画●

1/15(水) 大豆選別会
1/19(日) 甲状腺検診@白井市
1/26(日) 関東子ども健康調査年次報告会

～各種募金は、下記【注文番号】で、毎週受付しております。ご協力をお願い致します～

- ★【注文番号: 500251】東海第二原発差止訴訟基金 1口500円
- ★【注文番号: 500252】関東子ども健康調査支援基金 1口1000円
- ★【注文番号: 500253】被災地等を支援する【JOSOたすけあい基金】 1口500円
- ★【注文番号: 500254】JOSO脱プラ基金 1口500円
- ★【注文番号: 500255】鈴木牧場・新牛舎応援基金 1口500円(期間: ~2025年3月4日まで)
- ★【注文番号: 500256】脱原発と暮らし見直し委員会「12年のまとめ」の印刷カンパ 1口200円
- ★【注文番号: 500257】岩瀬牧場・養豚基金 1口500円(一次締切: ~2025年4月5日まで)

大豆プロジェクトの大豆が収穫を迎えました！常総生協の大豆でみそを作ろう！

■はじめに

大豆の自給率が6%(94%は輸入)になってしまった問題意識から、「毎年仕込む手作り味噌の大豆くらいは地域で自給したい」との思いから2021年に再始動(※1)した「大豆プロジェクト」。

今年は常総生協に集う2名の生産者に作付け頂き、1/6現在、残るは選別作業という状況です。これまでの今年の大豆プロジェクトを振り返ります。

(※1) 常総生協と大豆にまつわる経緯は次号掲載予定のニュースレターをご覧ください。

■今期の生産者と収穫量は

今年ご協力いただきました生産者は、

- ・どんぐりていの倉持さん(坂東市)
- ・アグリ古柿土の横瀬さん(守谷市) の2名です。

今期の収穫量見込み(選別前)は、合計760kg程の見込みです。

	生産者	播種面積	品種	選別前重量	選別後重量	備考
1	どんぐりてい (倉持恵子さん)	6反	(※2)	約630kg	年明け選別	・草取りに一部手が回らず。
2	アグリ古柿土 (横瀬光好さん)	3反	里のほほえみ	約130kg	約120kg	・12/17に収穫

(※2) どんぐりてい倉持さんの知人の自然農法家から分けてもらった自家採種の在来種。品種名は特になし。

■常総生協では何トン的大豆が必要？

昨シーズン、組合員が手作り味噌として仕込んだ大豆の量は888kgでした(乾豆、蒸し大豆合計)。目標としては「まずは手づくり味噌用で1t」を第一段階としています。

しかし、今年も地場大豆だけでは味噌づくり用大豆が全量賅えないため、山形のおきたま興農舎さんのご協力で「蒸し大豆」(※3)用として有機大豆をご支援いただきます。感謝です。

(※3) 蒸し大豆: 地元守谷のやまこ味噌さんに大豆を持ち込み、特別に蒸してもらったものを冷凍でお届け。

■種撒き～収穫までの道のり

種撒き、今年も暑くて遅い時期に概ね7月中旬から8月にかけて播種。しかし、今年もとにかく暑く播種時期を後ろにずらしました(8/18播種)。せっかく発芽しても暑すぎて育たない事があるからです。

草取りが大変！(9月～)

除草剤も無しなので、とにかく除草が大事。草に養分が取られると収穫量に影響します。昨年の反省を踏まえ、横瀬さんは仮払い機でこまめに除草。甲斐あって、草に負ける大豆は少なかった様子です。

待ちに待った収穫！(12月～)

7月の青々とした「枝豆」の時期を経て、12月に入って全体が茶色く枯れ、揺ると英(さや)の中でカラカラと豆の音が鳴ったら収穫の合図。



ここで注意が必要なのが、やはり収穫のタイミング！水分量が多すぎると脱穀(英から豆を出す)がうまくいきません。逆に乾きすぎると英が弾けてしまい畑に豆が散乱する大惨事に！

英から実を出す脱穀！

右の画像は倉持さんの大豆・脱穀の様子です。小型の脱穀機を使い、職員・理事も脱穀をお手伝い。詳しくは次回の「はちどりレター」で報告します！



下の画像は横瀬さんの大豆収穫の様子(12/17)。横瀬さんの知人がそばや大豆を収穫できるコンバインをもっているため、刈り取りにご協力頂きました。この機械は収穫から脱穀までを一連で可能。約2反の大豆畑を1時間弱で収穫・脱穀終了。機械ってすごい！



最後は選別作業

出来た大豆は、大小、着色、虫食い等様々なので選別をします。少しの着色や黒ずみは味噌づくりやご家庭での料理にはほとんど差し支えありませんので(※4)、少しでも色が付いていたら弾く色彩選別までは実施しません。貴重な有機の大豆、余すところなく頂きたいと思います。

(※4) 以前、常総生協にて、選別後のはね出し大豆で味噌を仕込んでみましたが、美味しい味噌ができました。



最終選別は年明けにやさと農協さんの選別機で行いますが、人の手も必要です(5-6人)。

ご協力頂ける方は

次ページの「大豆選別会」をご覧ください！ ⇒ ⇒

■今後の計画(大豆プロジェクト中期計画)

直近3年の収穫量推移は

2022年: 約500kg

2023年: 約660kg

2024年: 約700kg(見込)

今後、まずは常総生協組合員が仕込む手作り味噌分(約1t)と常総醤油の分(660kg/1桶分)、合計約1.5tを生産者と一緒に目指したいと思えます。来年は、ぜひ畑にもお越しください。

1月15日(水)は大豆選別会！ ぜひご参加ください

前ページでご紹介した「大豆プロジェクト」の大豆は、年明けに最終工程の選別作業(大小、着色、虫食い等)を行います。JAやさと農協の選別機で行いますが、人の手も必要です。そこで…

昨年は5人で5時間かかりました↓

大豆選別作業にご協力頂ける方を募集します！ 申込締切 1月13日(月)

日 時 **2025年1月15日(水) 現地11時～15時**

集合場所 ①生協本部の方:10時に本部集合

②現地直行の方:11時集合 JAやさと営農流通センター

準備/服装 マスク、暖かい恰好 ↑ 石岡市柿岡3594-1

担 当 柿崎 (お申込みはお電話で: 0297-48-4911 本部)



あきたこまちRの学習会 ご案内

あきたこまちR※がなぜ問題なのか、まわりの人に説明できないという組合員さんの声をいただき、この問題に詳しく・署名を集めている、印鑰(いんやく)智哉さんに来ていただき学習会を行い、あきたこまちRの複雑な背景を解きほぐしていただきます。また、集めている署名用紙は**2月21日(金)**で~~メ~~切りしますので、まだの方は是非ご協力をお願いします。

※2025年から秋田県が供給するイネの種の「あきたこまち」は、すべて新品種の「あきたこまちR(放射線によってカドミウムを吸う遺伝子が改変された品種)」に切り替えられます。



日 時 **2月1日土曜日 14時～16時**

講 演 14:00～15:30

質疑応答 15:30～16:00 の予定です。

場 所 生協本部 組合員活動室(守谷市本町281) オンライン署名受付中→
Zoom参加(→申込は[こちら](#))も可能です

参加費 会場参加は300円(資料代・お釣り無いようご協力を。
ZOOM参加者は無料)

講 師 印鑰智哉さん

(プロフィール)アジア太平洋資料センター(PARC)、ブラジル社会経済分析研究所(IBASE)、Greenpeace、オルター・トレード・ジャパン政策室室長を経て、現在はOKシードプロジェクト事務局長。2022年から食からの情報民主化プロジェクトを構想・実行中。ドキュメンタリー映画『遺伝子組み換えルーレット』(2015年)、ドキュメンタリー映画『種子ーみんなのもの？ それとも企業の所有物？』(2018年)いずれも日本語版企画・監訳。共著で『抵抗と創造のアマゾンー持続的な開発と民衆の運動』(現代企画室刊、2017年)で「アグロエコロジーがアマゾンを救う」、『イミダス 現代の視点2021』(集英社2020)で「種子法廃止に続いて「種苗法改定」で、農家に打撃！？」を執筆。その他、『世界』(岩波書店)などで記事を執筆。



組合員以外の方も申込みいただけます。お知り合いの方をお誘いあわせの上是非ご参加ください。【担当:柿崎】

-----キ リ ト リ-----

2/1(土) あきたこまちRの学習会に参加します

※締め切り:1/29(水)まで

コース名: _____ 組合員番号: _____ 名前: _____

人数: _____ 年 (大人 _____ 人 ・子ども _____ 人)

Zoom参加やweb申込の方は[こちら](#)→



子ども応援プロジェクト◆届いた食品を12/11(水)にフードバンクへ届けました！

2018年より始まった、フードバンク茨城主催の「子ども支援プロジェクト」。協同組合 ネットいばらきより「就学援助を受けている小中学生のいるご家庭」と「県内ひとり暮らしの大学生」へ食への支援要請があり、11月4回のNewsLetterで呼びかけたところ、およそ40kgの食品が集まりました(お米5kg×2袋はじめ、缶詰・麺類・飲料など)。それを12月11日にフードバンクの仕分け先である牛久にある教会へ届けました。



今回の支援は茨城全体では427世帯、うち牛久市内には273世帯にお届けするとのことで、大変喜ばれました。ご協力ありがとうございました！

役員推薦委員 募集のお知らせ 組合員から2名募集！ご応募お願いします

現在理事が8名で欠員が出ると理事会が成立しなくなるため、役員補充を行いたく役員推薦委員を募集します。役員推薦制度とは、2023年第50回総代会でできた制度です。それまで、理事監事役員は選挙制で選ばれていました。定款変更で、2023年の選挙制から選任制に変わり、2024年に役員選任制度から役員推薦制度に名称を改めました。この制度については第51回総代会で多数意見を頂き議論の途中ですが、役員補充を早急に行いたいため、大変申し訳ございませんが現行制度のまま募集を行います。

第26期 役員(補充)推薦委員 募集公告

常総生活協同組合 理事会

○役員推薦委員の募集期間:2025年2月1日(土)～15日(土)

任期は2025年2月から、次の役員推薦委員(第27期)が発足するまで(2026年1月頃)

委員会は2～3回程度予定です。(日時は委員になる方と相談し決定します)

尚、6/21開催予定の総代会にもご出席ください

○役員推薦委員になるには以下の条件があります。 ※1～4すべてにあてはまる必要があります。

- 1 常総生協組合員であること(加入して1年以上)
- 2 総代経験者 (現総代は除く)
- 3 生協運営に興味がある方
- 4 役員に立候補する予定がない方 ※役員推薦委員はその任期内に決定する新役員の候補者にはなれません。なお、現職理事から選ばれた委員は理事の重任を妨げません。

○役員(理事)が決まるまでの流れ(予定)

2月15日	役員推薦委員の募集〆切
2月16～22日	理事長が応募者を元に委員3名を指名し、2月の理事会(2月22日土曜の予定)にて議案提出。同理事会で理事2名を含む委員5人を選出。
2月下旬～3月初旬	第1回役員推薦委員会開催(候補者募集のための準備)
3月下旬	役員(理事)の自薦および他薦募集〆切(予定)※詳細は推薦委員会で協議、決定
4月初旬	第2回役員推薦委員会開催(応募者の中から候補者を決定する)
4月下旬	4月の理事会で候補者を報告(報告は理事長が行う)
6月中旬	総代会にて新役員決議

-----キ リ ト リ-----

第26期役員(補充)推薦委員 申出書

※締め切り:2/15(土)まで

コース名: _____ 組合員番号: _____ 名前: _____

生協加入歴: _____ 年 総代経験の有無: 経験あり ・ 経験なし ○をつけてください。